抗アレルギー・肝臓疾患用注射剤

処方箋医薬品注

日本保华间吅力规律与		
8 7 4	49,873919	
承認番号	22100AMX01362000	
薬価収載	2009年9月	
販売開始	2004年12月	

口术無淮帝旦公粨采旦

の注意」の項参照) 使用期限:外箱及びアンプルに 表示の使用期限内に 使用すること。

法:室温保存(「取扱い上

グリファーゲン静注20mL

GLYPHAGEN

禁忌(次の患者には投与しないこと)

- (1)本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- (2)アルドステロン症の患者、ミオパシーのある患者、低カリ ウム血症の患者 [低カリウム血症、高血圧症等を悪化させ るおそれがある。]

【組 成・性 状】

F42 100 17 104			
品 名	グリファーゲン静注20mL		
	有効成分	含 量	
	有观成分	1 管 20mL中	
成分・含量	グリチルリチン酸―アンモニウム (グリチルリチン酸として)	40mg	
	グリシン(アミノ酢酸)	400mg	
	Lシステイン塩酸塩水和物 (Lシステイン塩酸塩として)	20mg	
剤形・色調	無色澄明の注射液		
pН	6.7~7.4		
浸透圧比(生理食 塩液に対する比)	0.9~1.3		
添加物	亜硫酸水素ナトリウム	6 mg	
添加物	pH調整剤	適量	

【効 能・効 果】

- ①小児ストロフルス、湿疹・皮膚炎、蕁麻疹、皮膚瘙痒症、口内 炎、フリクテン、薬疹・中毒疹
- ②慢性肝疾患における肝機能異常の改善

【用 法・用 量】

- ①通常、成人には1日1回5~20mLを静脈内に注射する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。
- ②慢性肝疾患に対しては1日1回40~60mLを静脈内に注射又は 点滴静注する

年齢、症状により適宜増減する。なお、増量する場合は1日 100mLを限度とする。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

高齢者 [低カリウム血症等の発現率が高い。](「高齢者への投 与」の項参照)

2. 重要な基本的注意

- (1)ショック等の発現を予測するため、十分な問診を行うこと。
- (2)ショック発現時に救急処置のとれる準備をしておくこと。
- (3) 投与後、患者を安静な状態に保たせ、十分な観察を行うこと (4)甘草を含有する製剤との併用は、本剤に含まれるグリチルリ
- チン酸が重複し、偽アルドステロン症があらわれやすくなる ので注意すること。

3. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ループ利尿剤 エタクリン酸 フロセミド等 チアジド系及び その類似降圧利尿剤 トリクロルメチアジド クロルタリドン等	低カリウム血症(脱力感、筋力低下等)があらわれるおそれがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を行うなど十分に注意すること。	これらの利尿作用が、 本剤に含まれるグリチ ルリチン酸のカリウム 排泄作用を増強し、血 清カリウム値の低下が あらわれやすくなる。
モキシフロキサシン塩 酸塩	心室性頻拍(Torsades de pointesを含む)、QT 延長を起こすおそれが ある。	本剤が有するカリウム 排泄作用により血清カリ ウム濃度が低下すると、 モキシフロキサシン塩酸 塩による心室性頻拍 (Torsades de pointesを 含む)、QT延長が発現 するおそれがある。

4. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を 実施していない。

(1)重大な副作用(頻度不明)

- 1) **ショック、アナフィラキシーショック**:ショック、アナフ ィラキシーショック(血圧低下、意識消失、呼吸困難、心肺停止、潮紅、顔面浮腫等)があらわれることがあるので、 観察を十分に行い、異常が認められた場合には、直ちに投 与を中止し、適切な処置を行うこと。
- 2)アナフィラキシー様症状:アナフィラキシー様症状(呼吸 困難、潮紅、顔面浮腫等)があらわれることがあるので、 観察を十分に行い、異常が認められた場合には、直ちに投 与を中止し、適切な処置を行うこと
- 3) 偽アルドステロン症:増量又は長期連用により高度の低カ リウム血症、低カリウム血症の発現頻度の上昇、血圧上昇、 ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドス テロン症があらわれるおそれがあるので、観察(血清カリ ウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合に は投与を中止すること

また、低カリウム血症の結果として、脱力感、筋力低下な どがあらわれるおそれがある。

(2) その他の副作用

下記のような症状があらわれることがあり、投与量の増加に より血清カリウム値の低下、血圧上昇の発現頻度の上昇傾向 が見られる。

			頻度不明
過	敏	症	発疹、蕁麻疹、瘙痒
体液・電解質		解質	血清カリウム値の低下、浮腫
循	環	器	血圧上昇
消	化	器	上腹部不快感、嘔気・嘔吐
呼	吸	器	咳嗽
	眼		一過性の視覚異常(目のかすみ、目のチカチカ等)
7	Ø	他	全身倦怠感、筋肉痛、異常感覚(しびれ感、ピリビリ 感等)、発熱、過呼吸症状(肩の熱感、四肢冷感、冷汗、 口渇、動悸)、尿糖陽性、頭痛、熱感、気分不良

5. 高齢者への投与

臨床での使用経験において、高齢者に低カリウム血症等の副 作用の発現率が高い傾向が認められるので、患者の状態を観 察しながら慎重に投与すること。

6. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦等への投与に関する安全性は確立していないので、これ らの患者には治療上の有益性が危険性を上回ると判断される 場合にのみ投与すること。「グリチルリチン酸一アンモニウ ムを大量投与したときの動物実験(ラット)において腎奇形等 が認められている。]

7. 適用上の注意

注射速度:静脈内投与は、患者の状態を観察しながらできる だけ投与速度を緩徐にすること。

8. その他の注意

グリチルリチン酸又は甘草を含有する製剤の経口投与によ り、横紋筋融解症があらわれたとの報告がある。

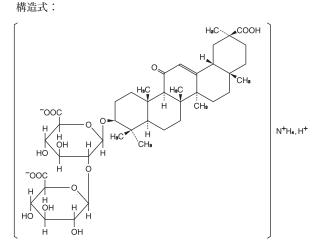
【有効成分に関する理化学的知見】

○一般名:グリチルリチン酸一アンモニウム

化学名:Monoammonium of $20\,\beta$ -carboxy-11-oxo-30-norolean-12-en-3 β -yl-2-O- β -D-glucopyranuronosyl- β -D-

glucopyranosiduronic acid 分子式:C42H68NO16

分子量:839.96



性 状:グリチルリチン酸-アンモニウムは白色の微細な結晶 又は結晶性の粉末で、においはなく、特異な甘味があ

> 水又は希エタノールに溶けやすく、エタノール(95)に 極めて溶けにくく、クロロホルム又はジエチルエーテ ルにほとんど溶けない。

○一般名:グリシン(アミノ酢酸)

化学名:Aminoacetic acid 分子式:C₂H₅NO₂

分子量:75.07

構造式:

___CO₂H H₂N /

性 状: グリシン(アミノ酢酸)は白色の結晶又は結晶性の粉末 で、においはなく、味は甘い。

水又はギ酸に溶けやすく、エタノール(95)にほとんど

溶けない。

○一般名:L-システイン塩酸塩水和物

化学名: (2R)-2-Amino-3-sulfanylpropanoic acid

monohydrochloride monohydrate

分子式: C₃H₇NO₂S·HCl·H₂O

分子量:175.63

構造式:

性 状:Lシステイン塩酸塩水和物は白色の結晶又は結晶性の 粉末で、特異なにおい及び強い酸味がある。

水に極めて溶けやすく、エタノール(99.5)にやや溶け

やすい。 本品は6 mol/L塩酸試液に溶ける。

【取扱い上の注意】

1. 製品の安定性を保持するため脱酸素剤を封入しているので、 アンプルを包んでいる外袋は使用直前まで開封しないこと。 また開封後は速やかに使用すること

2. 外袋の内側に水滴が認められるものや内容液に着色、混濁又 は結晶が認められるものは使用しないこと。

3. 安定性試験

最終包装製品を用いた加速試験(40℃、相対湿度75%、6ヵ月) の結果、グリファーゲン静注20mLは通常の市場流通下にお いて3年間安定であることが推測された。1)

20mL×50管(プラスチックアンプル)

【主 要 文 献】

1) 日医エファーマ株式会社 社内資料:安定性試験

【文献請求先】

主要文献欄に記載の文献・社内資料は下記にご請求下さい。 日医工株式会社 お客様サポートセンター

〒930-8583 富山市総曲輪1丁目6番21

50 (0120) 517 − 215

Fax (076) 442-8948

【プラスチックアンプル使用方法】





製造販売元

日医エファーマ株式会社 富山市総曲輪1丁月6番21